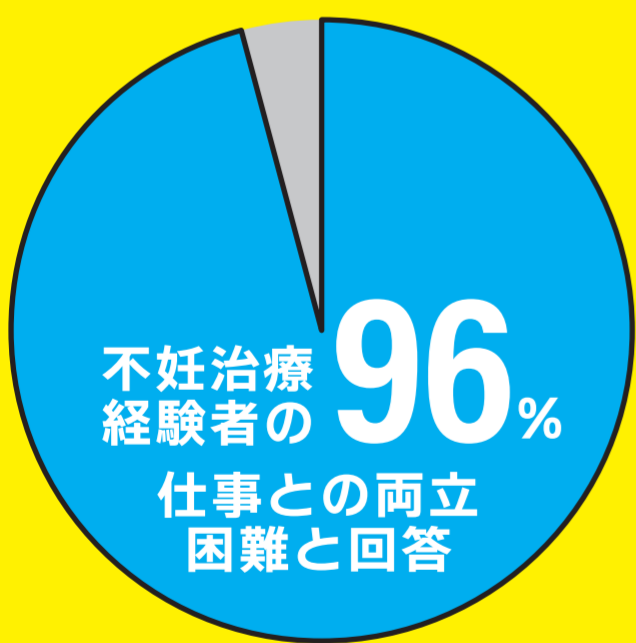


知ってほしい不妊治療のこと



不妊治療経験者の5人に1人が仕事との両立が困難であることを理由に退職をしています。



仕事と不妊治療の両立が難しい理由

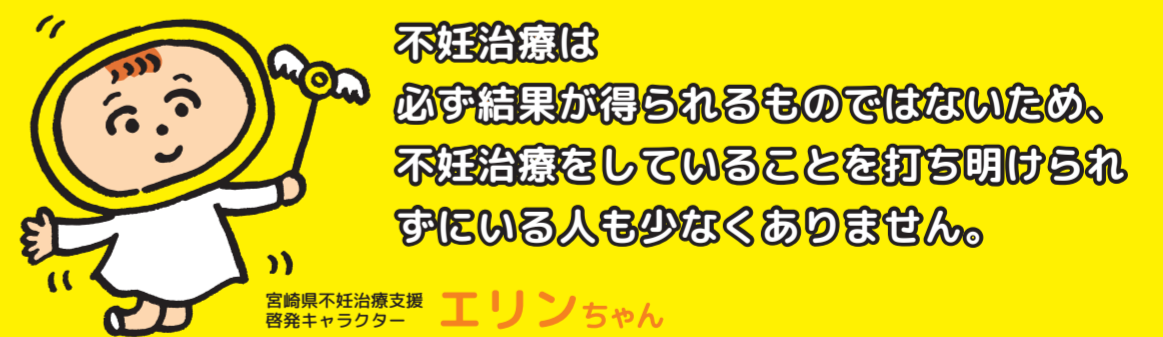
- 急に・頻繁に仕事を休むことが必要 (71.9%)
- 予め通院スケジュールを立てることが難しい (47.3%)

【通院日数目安 (月経周期ごと)】 厚生労働省「不妊治療と仕事の両立サポートハンドブック」より

	一般不妊治療	生殖補助医療
女性	診療時間1回 1~2時間程度 程度の通院：2日~6日	診療時間1回 1~3時間程度の通院：4日~10日 + 診療時間1回あたり半日~1日程度の通院：1日~2日
男性	約半日 ※手術を伴う場合には1日必要	

● 不妊症は女性の問題と捉えられがちですが、不妊の原因の約半数は男性側にあります。

- 周りに迷惑をかけて心苦しい (25.6%)
- 上司・同僚の理解を得られない / 得難い (13.0%)
- 治療のことを職場でカミングアウトすることが難しい (12.7%)



出典：NPO法人Fine (ファイン) 「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part 2」(2017)

不妊治療と仕事を両立できる社会づくり

子どもをほしいと願うすべての人の

「働き続けたい」を支えたい。



不妊治療が必要な人も、そうでない人も、子どもがほしいと願う気持ちは同じ。でも、不妊治療という過程がある人にとっては、**通院回数が多い、突発的な受診が必要**といった治療の特性に加え、そのことを周囲が十分理解できていないことが、大きな負担になっています。子どもがほしいと願うすべての人のために、まずは正しい理解と心配り。それが、私たちにできる第一歩です。